

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所の管轄区域は、名古屋までの交通利便が良く、私鉄でも片道30分以内で通勤可能なエリアであることから特に若年層を中心に名古屋方面での就業希望者が多い地域であります。2008年に日本の人口がピークとなって以降少子高齢化の進展（労働力人口の減少）に拍車がかかり労働力の確保が課題となる中で高齢労働者の活用が重要となってきているところ、平成31年度より犬山市が「生涯現役促進地域連携事業」の実施団体として決定されるとともに、同年4月より犬山所に生涯現役支援窓口が設置されました。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症によりいろいろな制限がある中、年度当初より犬山市との雇用対策協定締結に向けた取組、犬山市役所内に雇用調整助成金特別窓口を設置する等連携を強化してきました。

その結果、犬山市、犬山商工会議所と合同での初めての就職面接会の開催することができました。また、令和3年2月16日には、犬山市役所において犬山市長と愛知労働局長が署名し、雇用対策協定を締結することに至りました。犬山市と労働局の双方が地域における雇用環境に関する課題を共有し、それぞれの強みを発揮しながら連携することにより、地域の人材が活躍できる、活力を生み出す持続可能なまちづくりに取り組むこととしました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染症の影響により、3密状態を回避するため電話による職業相談やリモートによる職業相談を実施しました。雇用保険失業給付においては、新型コロナウイルス感染症による離職者は給付日数が延長され、受給者実人員の増加による認定日の混雑緩和を図るため、事前にアンケートを配付しそのアンケートに基づき簡易相談をすることとしました。

また、当所の来所者のほとんどは自動車で来所する方が多く、駐車場が12台と少ないため駐車場に入るために道路に列をなしている状態でしたが、年度当初から犬山市との連携の中で、近くの犬山市施設の駐車場を借用することができ、駐車場の混雑緩和ができるようになりました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

刷新されたハローワークシステムは、求職者が所有するモバイル端末をフルに活用し、求職者自身でサービス内容を選択し効率的に求職活動ができる仕組み（ハローワークに来所しなくても、来所する求職者と同等のサービスが受けられるもの）で構成されていますが、前述したような高齢求職者に力点を置いた職業相談には馴染まない部分（スマホを所持していない者、スマホ使用が不得意な者など）もあります。これまでのハローワークでは想像できないくらい提供するサービスが多様化する中、サービスを提供する側として求職者ごとのニーズを的確に見立て、そのニーズに応じたサービス提供ができるような体制づくりや業務内容にしていく必要があります、そのためには各自（職員・相談員）がこれまで持っていた以上の意識で体制・サービス内容を検討する必要があると思料します。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 特記事項

当所管轄は3市2町あり、それぞれ観光主体の地域や製造業主体の地域など、所属規模感（職員17名）の割に地域特性がバラエティに富んだエリアであります。ハローワークとして何らかの取組を図るにあたり、どの市町に対しても足並みを揃え画一的なもので行おうとしてもなかなかうまくいかない実感があります。場合によっては、地域の実情（例えば犬山市は健康社会の実現、江南市は人口減少を見据えた積極的な企業誘致など）・指向性・ニーズなどを踏まえてアレンジしつつ、弾力的に取組をすすめる方が理解を得られやすいと考えます。

### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	紹介率	ハローワークの 主職業紹介によ り正社員に結び 付いた就職氷河 期世代の不安 定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件 数	生活保護受給 者当の就職件 数		
実績	1,617	1,275	907	102.1%	223	6,786	623	44		
目標	1,720	1,587	791	97.9%	97	7,374	635	19		
目標達成率	94%	80%	114%	104%	240%	146%	98%	231%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率